

平成28年度第2回山元町総合教育会議 議事録

- 1 開催日時 平成28年11月24日(木) 午後2時30分から午後4時00分
- 2 開催場所 山元町勤労青少年ホーム 1階 講義室
- 3 出席者 別紙「出席者名簿」のとおり
- 4 概要 以下のとおり
 - (1) 開催
 - (2) 開会の挨拶
 - (3) 議題
 - (1) 教育施設の環境整備について(説明者: 齋藤総務班長、阿部生涯学習班長)
 - ①学校施設 ②社会教育施設 ③各施設の周辺環境の整備
 - (2) 今後の教育課題等について
 - ①学力状況調査 ②児童生徒数の推移(説明者: 齋藤総務班長)
 - (4) その他
 - (5) 閉会

1 開催にあたり【司会: 佐藤学務課長】

ただいまから、平成28年度 第2回山元町総合教育会議を開会いたします。
開会にあたりまして、山元町長 齋藤 俊夫よりあいさつを申し上げます。

2 あいさつ【山元町長: 齋藤俊夫】

教育委員の皆様、本日は、平成28年度第2回山元町総合教育会議にご出席いただき、ありがとうございます。

さて、先日の早朝には、津波警報が発令され、各学校に避難所を開設し、約600名の避難者を受け入れたところです。

各学校も臨時休校の措置をとり、万全を期しましたが、幸い大きな被害もなく、安堵したところです。

さて、今回が4回目の開催となりますが、委員の皆様には、日ごろから、未来を担う山元の子どもたちや、町民の誰もが将来へ向けた夢と志を育む教育政策の実現に向け、日々、ご尽力いただいておりますことに対し、心から感謝申し上げます。

全国に目を向けますと、横浜市での福島県からの避難者に対するいじめ問題や学力向上など教育に関連するニュースが連日報道されており、教育行政への社会の眼は大変厳しく、今後も今以上に関心が高まっていくものと感じています。

町としては、このような状況からも、より一層首長と教育委員会が連携を強化し、

教育行政の基盤を再確認したうえで、今後の町の原動力となる健全な青少年の人材育成はもちろんのこと、活躍の場の提供等も含め、枠にとらわれない柔軟な対応を行わなければならないと考えております。

本日は、平成28年度第2回目の会議になりますが、議題にもありますとおり、「教育施設の環境整備」「今後の教育課題等」について、議論を交わしたいと思いますので、委員の皆様、忌憚無く、ご発言いただき、活発な会議になるようよろしくお願いいたします。

ー以下議事ー

3 議 題

【司会】

それでは、次第に基づきまして、議題に入らせていただきますが、議題の進行につきましては、山元町総合教育会議運営要綱第4条の規定に基づき、齋藤町長が議長となり、進行させていただきますので、よろしくお願いいたします。

【議長】（齋藤町長）

はい、それでは、議長をお預かりしましたので、進行させていただきます。

議題の（1）「教育施設の環境整備」について①から③まで事務局から説明をお願いします。

【事務局】（齋藤総務班長）

はい、それでは、まず初めに①の学校施設について、右上資料1-1「学校施設一覧」で説明します。

1 小学校について、坂元小学校は校舎を昭和55年及び56年に建築し、耐震適合となっており、平成28年8月に地下灯油タンクを地上式に切り替えております。屋体は平成26年に建築しております。今後の取り組みとしては、平成28年12月に強風対策工事と校庭改修工事を実施する予定としております。

次に、山下小学校は、校舎を昭和53年に建築しており、耐震補強済となっております。屋体は昭和43年に建築し、こちらも耐震補強済となっております。今後の取り組みとしては、通学路の改修が必要であると考えております。

次に、山下第一小学校は、校舎を昭和58年及び59年に建築し、耐震適合となっております。屋体は昭和39年に建築し、耐震補強済となっております。今後の取り組みとしては、雨漏り対策が必要であると考えております。

次に、山下第二小学校は、校舎、屋体ともに平成28年度に建築し、新市街地の子育てエリアとして一体的な管理となっております。

2 中学校について、坂元中学校は校舎を平成6年、屋体を平成7年に建築し、耐震適合となっております。今後の取り組みとしては、通学路への街路灯設置や雨漏り対

策が必要であると考えております。

次に、山下中学校は、校舎を平成14年及び15年に建築、屋体を平成15年に建築し、耐震適合となっております。今後の取り組みとしては、平成28年12月に雨漏り対策工事を実施する予定としており、その他、通学路の改修が必要であると考えております。

3今後の小・中学校の管理運営の方針案については、1シルバー人材センターを活用した草刈等による学校環境美化対策の実施、2通学路安全対策委員会の設置による歩道等通学路安全対策施設の整備、3建物の長寿命化対策として、雨漏り対策やトイレの洋式化などの実施としております。

説明は以上となります。

【事務局】（阿部生涯学習班長）

次に②の社会教育施設について、右上資料1-2「社会教育・社会体育施設等一覧」で説明します。

まず、1社会教育施設の中央公民館については、昭和55年に建築し、平成26年に耐震補強、平成27年にトイレ改修を実施しています。

次に、坂元公民館については、昭和50年に建築しており平成29年に供用終了見込みとなっております。

次に、勤労青少年ホームについては、昭和55年に建築し、平成27年にトイレ改修を実施しております。

次に深山山麓少年の森については、平成7年に建築し、平成26年に潮風トレイルに選定されております。平成27年に木橋を撤去しております。

次に、2社会体育施設の体育文化センターについては、昭和53年に建築し、平成27年に消防設備の改修を実施しております。

次に、第二体育館跡地グラウンドについては、平成27年に簡易的な整備を実施しております。

次に、真庭グラウンド、山寺グラウンドについては、逐次草刈等を実施しております。

次に、パークゴルフ場の整備については、現在検討中となっております。

次に、3文化施設の歴史民俗資料館については、平成元年に建築し、収蔵庫の新設について検討しているところです。

次に、ふるさと伝承館については、平成2年に建築し、現在は、思い出サルベージに利用されております。

次に、茶室・板倉・大手門については、平成24年に災害復旧を行いました。

次に、仮称山下地域交流センター及び坂元地域交流センターについては、現在、建設中となっております。山下は平成29年8月、坂元は平成29年5月にそれぞれ完成する予定となっております。

最後に4その他の牛橋公園については、平成8年に建築し、平成26年に災害復

旧が完了しております。

次に、震災遺構については、平成29年度に設計業務、平成30年度に整備工事を実施する予定となっております。

説明は以上でございます。

【事務局】（齋藤総務班長）

次に、③各施設の周辺環境の整備について、資料1-3-①及び1-3-②をご覧ください。

資料1-3-①は、まちづくり整備課で実施している事業の進捗状況となっております、山下小学校、山下中学校の通学路となる「山寺畑中線」の測量設計業務や、山下小・中学校の南から作田山団地までの「山下浅生原線」などが実施中や実施予定となっております。

次に、資料1-3-②は、施設管理室で実施している事業の進捗状況となっております。

説明は以上でございます。

【議長】（齋藤町長）

事務局から説明がありました。

関連がありますので、「教育施設の環境整備」について、一括して、意見交換を行いたいと思いますのでご意見等ありましたらお願いします。

【教育委員】（荻原委員）

はい、坂元中学校の通学路の街路灯設置については早く実施してほしいと思いますが、いつ頃になるのでしょうか。

【事務局】（佐藤学務課長）

はい、坂元中学校の西側の道路について、通学路として使っており、震災前まではあった民家がなくなり暗くなってしまったため、防犯灯が必要になっていると認識しておりますので、なるべく早く設置するよう担当の危機管理室と調整を行います。

【委員】（齋藤委員）

はい、学校施設の雨漏りについて、今の現状はどのようになっていますか。学習に支障はあるのでしょうか。

【事務局】（佐藤学務課長）

雨漏りの現状については、坂元小は校舎の中央階段、山一小は1階のプレイルームと2階の理科室前の廊下などで雨漏りがあります。

今後、国の補助金を活用して対策していきたいと思います。

【議長】（齋藤町長）

町は、現在、被災者支援を優先しながら進めてきています。
坂元小は国からの3分の1の補助を活用し実施すべきと考えています。

【教育委員】（大内委員）

雨漏りはどこから漏れているか特定は出来るのでしょうか。
吹き込みもあるため、調査してもわからないこともあります。

【議長】（齋藤町長）

建築年度を見たときに昭和40年代のものもあるため、経過年数も踏まえた対応が必要となってくるでしょう。

【教育委員】（齋藤委員）

少年の森の活用法の検討とはどのようなもののでしょうか。

【事務局】（齋藤生涯学習課長）

マウンテンバイクのコースがかなり高度であり、利用が進まないため、大幅に改修する必要があると思っています。深山に登ろうのイベントでは、70人以上の参加者があり、駐車場を含め年次計画を立て改修していきたいと考えています。

【教育委員】（齋藤委員）

登山するのに、看板が少ないと感じています。せめて登り、下りの案内板がほしいと思います。

【事務局】（齋藤生涯学習課長）

対応します。

【教育委員】（大内委員）

文化施設の茶室についての今後の予定はありませんか。

【事務局】（齋藤生涯学習課長）

解体をして、1つ1つ部材を確認していきたいと考えています。
来年度か再来年度に実施したいと考えております。

【教育委員】（島田委員）

文化財については、震災復興の補助がありませんので、その辺も含めて検討してほしいです。

【事務局】（齋藤生涯学習課長）

文化庁と協議しましたが、町の所有物については、町で実施すべきとのことでしたので、財団を通じて交付を受けたいと考えております。

【議長】（齋藤町長）

文化施設として、交流センターの建築もあります。計画図のとおり多くの事業を実施しているため、全てに手が行き届かないのはご理解いただけると助かります。

全国から106人の派遣を頂いていますが、やるべきことを実施していきたいと思えます。

予算があってもマンパワーが不足している状態です。

【議長】（齋藤町長）

ほかにご意見等なければ（1）「教育施設の環境整備」については、よろしいでしょうか。

（はいの声あり）

【議長】（齋藤町長）

はい。それでは、次に（2）今後の教育課題等について、事務局から説明をお願いします。

【事務局】（齋藤総務班長）

はい、それでは、①学力状況調査について右上資料2-1-①をご覧ください。

平成28年4月19日に行われた全国学力・学習状況調査の結果となります。

小学校は6年生、中学校は3年生を対象に行われております。

初めに、小学校についてですが、国語A、国語B、算数A、算数Bの全てにおいて、全国、県の平均を下回っている状況です。

次に、中学校については、算数A、算数Bについては、全国、県の平均を下回っていますが、国語A、国語Bについては、全国、県平均を上回っております。

①の学力状況調査について説明は以上となります。

【教育長】（菊池教育長）

補足ですが、中学校の国語については、県においても全国の平均を上回っております。本町では2年生から3年生に上がって学力が伸びました。

【議長】（齋藤町長）

事務局から説明がありました。①学力状況調査について意見交換をしたいと思いま

すが、中学校の国語については、何か取り組みを行ったのでしょうか。

【教育長】（菊池教育長）

はい、今の3年生は1年生の頃から書くという部分に力を入れて指導してきました。その成果が現れたのではないかと思います。

【教育委員】（齋藤委員）

何かをするにあたっては、あらゆる準備をしなければなりません。経験値をつけていくことが大事と考えます。学年の特色もありますが、日々の積み重ねが大事だと思います。

【教育委員】（島田委員）

国語は良い成績になっています。読み取る力がなければいけないですし、読書の習慣をつけることが大事だと思います。小学校からどれくらい本を読んでいるかを見ながら学力に繋げてほしいと思います。本が好きな子は成績も付いてきます。

【教育長】（菊池教育長）

朝、学校で読書活動に取り組んでいることもあります。図書貸し出し、読書も進めています。

【教育委員】（大内委員）

県平均と比べ数学が弱いのは、ドリルが少ないのではないのでしょうか。ドリルの繰り返しが必要です。

【議長】（齋藤町長）

それは学校でということでしょうか、家庭でということでしょうか。

【教育委員】（大内委員）

両方かと思います。

【教育委員】（島田委員）

繰り返しを継続し、飽きない方法を身につけさせることが大事であると思います。

【教育長】（菊池教育長）

成績の上位と下位が離れているためこの平均となっています。

特に数学が全国平均の近くになることはありませんでした。
算数、数学の指導にあたってもらっているが、底上げが図れない状況です。
なんとか力をつけてほしいと思っています。

【議長】（齋藤町長）

ほかにご意見等なければ①「学力状況調査」については、よろしいでしょうか。

（はいの声あり）

【議長】（齋藤町長）

はい。それでは、次に②児童生徒数の推移について、事務局から説明をお願いします。

【事務局】（齋藤総務班長）

はい、それでは、②児童生徒数の推移について右上資料2-1-②をご覧ください。

平成22年から27年度の児童生徒数については、5月1日基準の学校基本調査の数値となっております。

推計の平成28年度児童生徒数については、平成28年11月9日現在の数値をなっており、平成29年度以降の児童生徒数については、住民基本台帳のデータを基に算出した数値となっております。

平成28年度の児童生徒数については、785人となっており、平成34年度の見込み児童生徒数は610人と175人の減となっております。

平成31年度の山一小、1年生については、2人と極端に少ない人数となる見込みです。

②の児童生徒数の推移について説明は以上になります。

【議長】（齋藤町長）

事務局から説明がありました。②児童生徒数の推移について意見交換をしたいと思えます。

【教育委員】（大内委員）

この推計をどう見るかこの場ではなかなか難しいです。

【教育委員】（島田委員）

誰もが、子育てしやすい町として人数がぐっと増えることに希望を持って、町外にいて山元町に戻ってきて子育てしたいと思うような施策をお願いしたいです。

【教育委員】（齋藤委員）

現実的に数字を踏まえた場合は、やはり学校の統合も含めた案をいくつか考えておく必要があると思います。

【教育委員】（大内委員）

複式学級での対応も考慮しなければならないと思います。

【教育長】（菊池教育長）

学校の統合や小中一貫校などは、意見を伺いながら町的意思としてまとめるためには時間が必要です。

このことは、いつかは決断が必要で、地域の理解を得ないと難しく、町と地域が理解し合って実施するのは1年では難しいと考えます。

【教育委員】（大内委員）

中浜小の統合でも相当の力を必要としました。

【議長】（齋藤町長）

ほかにご質問がなければ、②児童生徒数の推移についてはよろしいでしょうか。

（はいの声あり）

【議長】（齋藤町長）

貴重なご意見ありがとうございました。

いただいたご意見を教育委員会と町が一体となって、課題解決に向け、「取り組んでいきたい」と思います。

【議長】（齋藤町長）

それでは、次第の4その他ですが、本日、ご提案した議題以外で何かございましたら、ご意見をお願いします。

（なしの声あり）

【議長】（齋藤町長）

本日は、非常に貴重なご意見や情報交換ができ、大変ありがとうございました。以上となりますので、閉会とさせていただきます。ありがとうございました。

【事務局】（佐藤学務課長）

はい。ありがとうございました。

以上をもちまして平成28年度第2回総合教育会議を閉会といたします。

大変ご苦労様でした。